

通し番号	3961
------	------

分類番号	15-2B-12-01
------	-------------

(成果情報名) 糖度が高く多収のミニトマトF <sub>1</sub> 品種「KspM」の育成
[要約] プラム型で果実が桃色のミニトマト系統の自殖後代から、超多花で短節間個体を選抜・固定化した「Ksp」に「ミニキャロル」の自殖後代で、食味が良く、TMVに対して抵抗性を示す個体を選抜・固定化することにより育成した「Mc」を交配することにより、食味が良く、着果数の多いミニトマト一代雑種品種「KspM」を育成した。露地及び雨よけ栽培では品質面で劣るものの、促成～半促成栽培では生育旺盛で花数が多く、収量性が高く、食味も良いことなどから、促成～半促成栽培向きのミニトマトF <sub>1</sub> 品種として実用利用が可能である。
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 生物資源部 連絡先 0463-58-0333

#### [背景・ねらい]

促成～半促成作型で利用可能で、直売に適した食味の高いかながわらしいミニトマトF<sub>1</sub>品種の育成に取り組んだ。育成過程では、食味、収量性に、また、栽培面では作りやすさを考慮してTMVや萎凋病等に対する病害抵抗性に着目して交雑・選抜を進めた。

#### [成果の内容・特徴]

1. 育成系統は、非芯止まり型で、伸長性が高いため節間はやや長く、葉の大きさは対照の「ミニキャロル」と同等であるが、茎はやや太く、全体に強めの草勢を示す。
2. 花数は、いずれの作型においても下段花房では「ミニキャロル」と同等だが、上段花房になるとほとんどがダブル、トリプル花房となり、花数は顕著に多く、収量性は高い。裂果が少なく、上果率は高い。
3. 促成作型では、果色は濃赤色、Brixは上段になるにしたがって高くなり、3段花房以上の果実では安定して8%を超えるなど食味は優れる。
4. TMV抵抗性としてTm-2をまた萎凋病抵抗性遺伝子等を有するので、一般的に利用されているTm-2型の抵抗性台木が利用可能である。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 促成及び半促成作型に適する。
2. 露地、雨よけ栽培等では、果実が約35gと大きく、酸味が強くなるなど形質が大きく変化するので、これらの作型には適用しない。
3. 抑制作型では、高温期の低段花房の着果安定のため、ホルモン処理は必ず行う。

[ 具体的データ ]

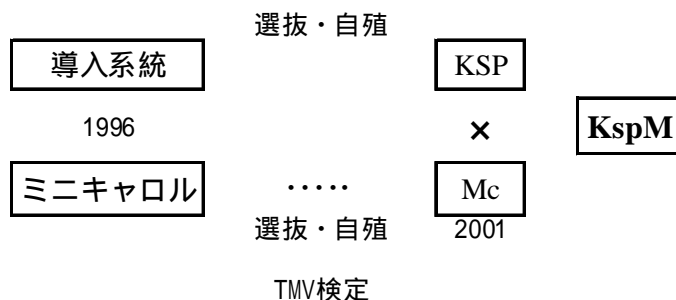


図 1 . 「KspM」の育成経過

表 1 育成したミニトマトF1系統「KspM」と標準品種との生育特性比較

系統・品種	作型 <sup>*1</sup>	草丈 cm <sup>*2</sup>	SPAD 値 <sup>*3</sup>	茎径 mm <sup>*4</sup>	節間長 cm <sup>*5</sup>	葉長 cm <sup>*6</sup>	葉幅 cm <sup>*6</sup>	第1花房 下葉数	花 数 <sup>*7</sup>					小果梗長 mm <sup>*8</sup>
									1	2	3	4	平均	
KspM (Ksp×Mc)	雨よけ	-	-	-	-	-	-	8.0	11.0	20.5	29.5	18.3	19.8	-
	促成	224	35.7	12.3	8.0	54.8	58.8	8.4	11.4	13.0	29.4	27.4	20.3	7.5
ミニキャロル	促成	193	29.1	11.6	6.5	54.2	57.6	7.6	15.8	19.2	20.4	26.4	20.5	5.6
ミニカプリ	促成	213	34.8	-	-	-	-	-	11.0	22.6	22.0	19.8	18.9	6.4
ネ	促成	182	31.2	-	-	-	-	-	16.0	19.5	25.5	33.5	23.6	6.4

<sup>\*1</sup>雨よけは2001年4月17日、促成は2002年9月13日播種、<sup>\*2,3</sup>2002年12月26日調査、<sup>\*3</sup>第2段花房直上葉を調査、<sup>\*3-6</sup>2003年3月12日調査、<sup>\*4</sup>第2-3花房間を測定、<sup>\*5</sup>第1-4花房間の平均値、<sup>\*7</sup>2003年1月30日における各花房段位の数値、<sup>\*8</sup>2003年6月10日調査

表 2 . 育成したミニトマトF1系統「KspM」と標準品種の収量性及び果実特性

系統・品種	作型	総収量 (kg/株)	上果 率(%)	裂果率 (%)	平均1 果重(g)	播種日	収穫 開始日	果形 <sup>*2</sup>			心室 数 <sup>*2</sup>	果色	Brix <sup>*3</sup>
								縦cm	横cm	比			
KspM (Ksp×Mc)	雨よけ	2.30	87	13.0	35.0	4月17日	7月16日	4.1	3.4	121	2.0	濃橙	6.9
	促成	2.70	96	1.8	14.5	9月13日	1月31日	3.4	3.0	113	2.0	濃赤	8.1
ミニキャロル	促成	2.36	77	19.2	10.4	9月13日	1月16日	2.8	2.9	97	2.0	濃赤	7.6
ミニカプリ	促成	2.45	94	4.5	15.0	9月13日	2月6日	3.2	3.1	103	2.0	桃	7.0
ネ	促成	2.09	84	6.7	8.8	9月13日	1月16日	2.5	2.8	89	2.0	濃赤	8.8

<sup>\*2</sup>2003/2/17調査、<sup>\*3</sup>2003/3/19調査

[資料名] 平成15年度試験研究成績書(野菜)

[研究課題名] かながわらしい特産品の開発

[研究期間] 平成14年度

[研究者担当名] 北 宜裕